

2017年12月27日
株式会社東陽テクニカ

ソースコードに潜む脆弱性を“手軽に”解析 Checkmarx CxSAST のオンデマンドサービス 「Cx クラウド」の提供開始 ～最小限の投資で脆弱性診断の第一歩を～

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝）は、サイバーセキュリティ大国イスラエルに本社を構えソースコードの脆弱性解析に強みを持つ Checkmarx LTD.（本社：イスラエル国テルアビブ、以下 Checkmarx 社）の、脆弱性静的解析プラットフォーム「Checkmarx CxSAST」をクラウドサーバー上で手軽に利用できるオンデマンドサービス「Cx クラウド」の提供を2018年1月5日より開始いたします。

誰でも容易に手軽に脆弱性診断が実施でき、セキュリティ問題の検出・対策の第一歩を踏み出すことができるよう、今回新たに、2016年7月より販売の「Checkmarx CxSAST」を利用した脆弱性診断を、クラウドサービスという形で提供いたします。定期的に「Checkmarx CxSAST」によるセキュリティ監査が要求される“Force.com プラットフォーム^{※1}”用ソースコードの開発者も、ソースコードのボリュームや解析回数を気にすることなく、いつでも手軽に利用できるようになります。安全なソフトウェアの開発を効率的に行えるだけでなく、セキュリティリスクの低減に必要なコストや労力の削減に寄与します。

【「Cx クラウド」提供の背景】

ソースコードの脆弱性診断手法の現在の主流は、ソースコードをコンパイル後/ビルド後のアプリケーションの脆弱性解析を外部に依頼し、その結果をレポートとして受けるものです。しかし、この方法はアプリケーションの内部を網羅的に解析するわけではないため、検出できる脆弱性が限られてしまいます。また、開発途中ではなく完成間近のアプリケーションの脆弱性解析を依頼することになるため、脆弱性をタイムリーかつ最適な方法で修正することができず、コストの増大や製品リリースの遅れにつながるおそれがあります。

東陽テクニカは、現在主流の脆弱性診断手法を補完する手段として、作成したソースコードの安全性を開発初期段階から把握し、さらに修正による手戻りコストを削減するために、コンパイル前/ビルド前のソースコード自体の解析を行うことが重要と考えています。そこで今回新たに、脆弱性静的解析プラットフォーム「Checkmarx CxSAST」を利用した脆弱性診断のクラウドサービス「Cx クラウド」を、主に、外部委託だけに頼らない脆弱性診



<Checkmarx CxSAST 機能概要>

断に興味を持つ開発者、Force.com プラットフォーム用ソースコードを大量に解析する必要がある方、さらには脆弱性診断の第一歩を踏み出すうえで悩んでいる方に向け、提供します。

【「Checkmarx CxSAST」とは】

「Checkmarx CxSAST」は、ソースコードに潜む脆弱性を検出し可視化することで、安心・安全なソフトウェアの開発を支援する脆弱性診断プラットフォームで、ソフトウェア開発の効率化やセキュリティリスクの低減に必要なコストと労力の削減に寄与します。

解析対象のプログラミング言語は 20 言語と幅広いため、業界を問わず利用できます。また、コンパイル前/ビルド前の状態で解析ができるため、開発者は作成したソースコードの安全性を開発初期段階から把握でき、脆弱性の修正による手戻りコストの大幅な削減が可能です。加えて、解析項目を細かくカスタマイズして、解析結果の偽陽性・偽陰性を最小限に抑えることができる点も大きなメリットです。さらに、脆弱性の特定だけでなく、最適な修正ポイントの候補が明示されるため、セキュリティに関する高度な専門知識がなくとも、どこから修正を行うべきか容易に判断することができます。

《 対応 20 言語 》

Java, JavaScript, VB.NET, C#, VB6, PHP, C/C++, Objective C, Swift, Ruby, VBScript, Perl, HTML5, Python, Groovy, Apex (Visual Force), ASP, Scala, PL/SQL, Go

【「Checkmarx CxSAST」の主な特長】

- Apex 言語や Go 言語を含む 20 のプログラミング言語とスクリプト言語に対応
- Spring や Node.js+Express を含む、一般的に普及しているフレームワークに対応
- コンパイル前/ビルド前のソースコード自体の解析が可能
- 最適な修正ポイントの候補を提案
- PCI-DSS^{※2} や CWE^{※3} などのセキュリティに関するガイドラインにも対応

【「Cx クラウド」のサービス形態および価格】

「Cx クラウド」は、コンパイル前/ビルド前のソースコード解析を東陽テクニカのクラウドサーバー上にある「Checkmarx CxSAST」を使って、手軽に低コストで実施できるようにしたサービスです。プロジェクト単位で必要な解析回数に応じて課金する方式で、2 種類のサービス体系を用意。

1) サービス名：Cx クラウド 1 スキャンサービス

利用料金：20 万円

解析対象：1 アカウントで 1 プロジェクトを対象に 1 回の解析

サービス開始日：2018 年 1 月 5 日

2) サービス名：Cx クラウド 1 カ月間パック

利用料金：50 万円

解析対象：1 アカウントで 1 プロジェクトを対象に、1 カ月間であれば何回でも解析が可能

サービス開始日：2018 年 1 月 5 日

- ※1 Salesforce.com 社が提供しているビジネスアプリケーション向けのクラウド上のプラットフォーム。「Checkmarx CxSAST」は、Force.com プラットフォーム用のソースコードを書く際に利用されるプログラミング言語 Apex (Visual Force) の解析が可能な唯一のプラットフォーム。
- ※2 Payment Cash Industry Data Security Standard の略。クレジットカード業界における国際的なセキュリティ規格。
- ※3 Common Weakness Enumeration の略。ソフトウェアにおけるセキュリティ上の脆弱性の種類を識別するための共通脆弱性識別子。

<Checkmarx LTD.について>

Checkmarx 社は、セキュリティに特化したソースコードの解析ツールプロバイダーとして 2006 年にイスラエルで設立されました。ソリューションとして、ソースコードの脆弱性の解析・検出を自動化するプラットフォームを提供し、高い技術・開発力により脆弱性の検出に関する数多くの特許を取得しています。顧客には世界トップ 10 にランクインする大手ソフトウェアベンダーやフォーチュン 500 企業の他、あらゆる産業の SMB 企業が含まれています。

Checkmarx 社 Web サイト : <https://www.checkmarx.com/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ ソフトウェア・ソリューション

TEL : 03-3245-1248 (直通) E-mail : ss_sales@toyo.co.jp

「Checkmarx CxSAST/Cx クラウド」紹介ページ :

<http://www.toyo.co.jp/ss/products/detail/checkmarx>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。